

2020年9月14日
国立情報学研究所
学術コンテンツ課

2019年度「JUSTICE 提案書情報のデータ共有に関する実証実験」結果報告

2019年12月19日付け文書でJUSTICE 会員館に募集した「JUSTICE 提案書情報のデータ共有に関する実証実験」について、2019年度の活動が完了したので、以下のとおり報告する。

1. 参加機関(7 機関)

- 千葉大学
- 東京大学
- 大阪大学
- 鹿児島大学
- 公立はこだて未来大学
- 明治大学
- 安田女子大学

2. 検証期間

- 2020年1月~3月

3. 作業内容

- (1) 検証したいパッケージのタイトルリストとライセンス情報を取得する。
- (2) 取得したタイトルリストとライセンス情報の活用方法を検討する。
- (3) 活用方法を検討した結果をフィードバックする。

4. フィードバックの概要と今後の課題

フィードバックの概要	今後の課題
タイトルリストに URL がないなど、情報が不足しているものがある。	タイトルリストについて不十分な情報や不足している項目を取りまとめ、タイトルリストの項目整備を JUSTICE 事務局経由で出版社に依頼する。
提供されたタイトルリストと契約タイトル(分野別コレクションなど)が大きく違い、照合ができない。	タイトルリストに問題点が多い、いくつかの出版社のタイトルリストを調査し、課題を洗い出す。
ライセンス情報にサイトの定義がないなど、必要な情報が不足している。	JUSTICE 参加館が必要としており、2019年度の実証実験に含まれなかったライセンス項目について、中央システムの登録項目を調整する。

<p>ライセンス情報の「ILLの可否」については出版社によって表現が異なるので統一した項目を設定してほしい。</p>	<p>2021年契約分のJUSTICE提案書で追加された、ILLの詳細項目について、中央システムのライセンス情報との対応関係を整理する。</p>
--	--

以上